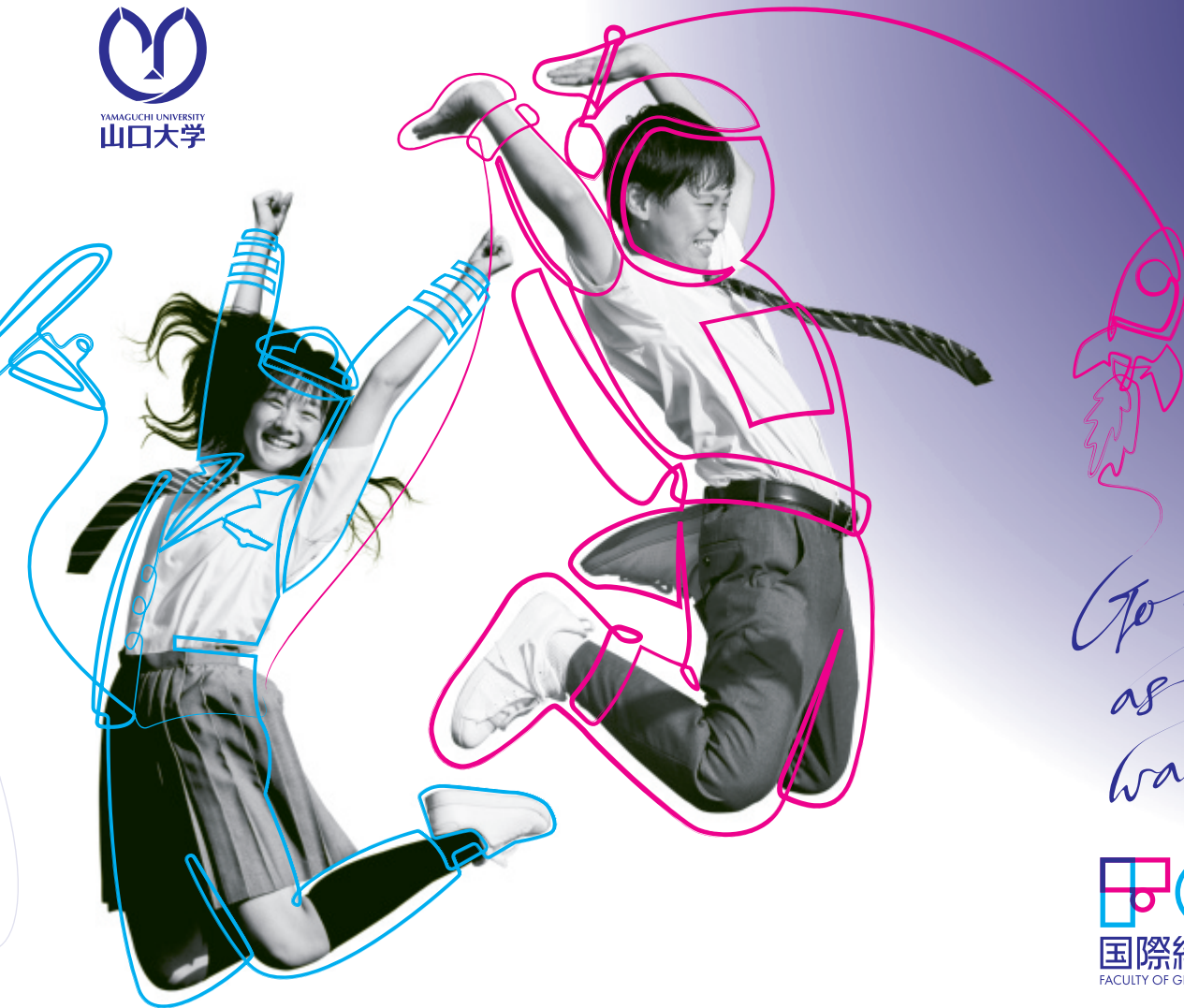


2024



*Go as far
as you
want!*

A portrait of a man with dark hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and a patterned tie. The image is overlaid with a white line-art sketch of the same man. The text '杉井 学' is written in white across the lower part of the portrait.

杉井 学

Sugii Manabu

時代と共に“学び”は変化しています。“学ぶ事”も“学ぶ人”もです。人間の本质や自然の摂理は基本的に変わることはないかもしれませんが、我々が理解しているのは、その一部にすぎません。学問は、新たな知識の発見や技術の積み重ねで、日々更新されていきます。“学ぶ人”は、何を学ぶのか、何のために学ぶのか、いつ学ぶのか、どこで学ぶのか、その人の思いや社会情勢などに応じて“学び”を変化させます。

国際総合科学部は、“文系・理系”のような既存の枠組みで仕切られた学問領域の一部を追求するやり方ではない、時代に求められた“新たな学びの場”として設計されています。ここでの“学び”は、学問領域を横断し、また融合し、その対象を日本と世界にも広げた“豊かな総合力”を修得するものです。また我々は、この“豊かな総合力”を駆使して様々な分野の世界のエキスパートたちを接続しながら、社会に変革をもたらす役割を担う人材、“グローバルスペシャリスト”の養成を目指しています。

さて、今まさに“自分の学び”を探している人に、「国際総合科学部での“学び”の

専門性は何ですか？」と問われたなら、既存の学問領域を表す名称で答えることには違和感があります。“一人一人の人間が中心となる社会”を創造するには、既存の学問領域それぞれに通じながら、それらを横断し融合する新たな学問が必要と考えるからです。国際総合科学部では、この新たな学問を体系化すべく“デザイン思考”をはじめとする様々な思考方法と共に、それらを用いて広い分野の知識・技術を組み合わせることで、社会課題を解決するための“豊かな総合力”を養うことができると考えています。

細分化した高度な知識や技術の深化を目指す学部がある一方で、国際総合科学部はそれらの統合設計・社会実装の深化を目指している学部です。つまり国際総合科学部とは、これまでの学問に蓄積された知識・技術を駆使しながら、既存の枠組みにとらわれないトランスフォーメーション（変革）を起こすことで、社会に新しい価値を生み出そうとしているのです。



国際総合科学部

FACULTY OF GLOBAL AND SCIENCE STUDIES

山口大学は、1815年に創設された私塾「山口講堂」を起源とし、地域における高等教育および学問研究の中核たる新制大学として創設された日本で3番目に歴史ある大学です。

2015年には、私塾「山口講堂」創設から創基200周年を迎え、その年に第9番目の学部「国際総合科学部」が誕生しました。

国際総合科学科 1学部1学科
定員 1学年100名

国際総合科学部での日々



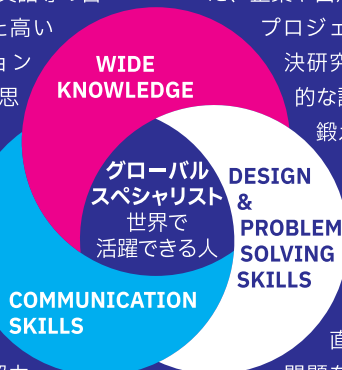
国際総合科学部の養成する人材像

文理の枠を超えた幅広い知識を有し、日本語・英語等の言語をツールとした高いコミュニケーション能力と、デザイン思考による課題解決能力を持つグローバル人材を養成します。

1年間の海外留学で、国際感覚や異文化理解力を身に付け、国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力

力と共働力を育成します。また、企業や自治体と連携したプロジェクト型課題解決研究により、実践的な課題解決能力を鍛えます。

これらのカリキュラムを通じて、国際舞台や地域社会の現場で直面する困難な問題を解決し、新しい価値、新しい社会を創造するグローバル人材を育てます。



FGSSにおける「デザイン」とは？

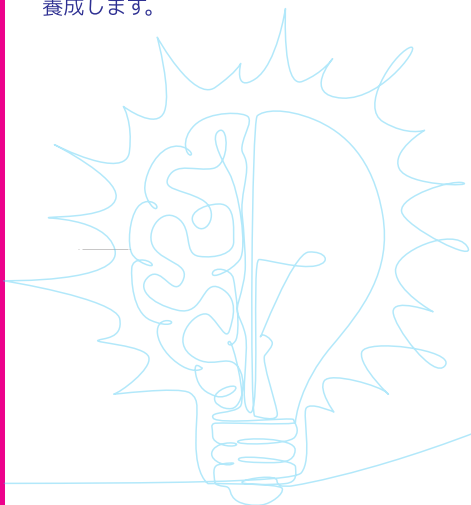
「デザイン」は、「設計する・計画する・企画する」といった意味ですが、その対象は、単にモノの色や形を越えて、新しい価値・体験・生活を含みます。これらのデザインを通じて、社会あるいは企業等の組織が抱えるさまざまな課題を解決することを狙いとしています。

幅広い知識とその活用能力	コミュニケーション能力と共働力	デザインを通じた課題解決能力
思想・文化や政治・経済また科学技術リテラシーなど幅広い知識を身に付け、それらを活用する能力を身に付けます。	「日本語・英語等の言語」をツールとした優れたコミュニケーション能力を持ち、様々な文化的背景を持つ人々を理解し、ともに活躍することが出来る能力を身に付けます。	山口大学の教育理念「発見し・はぐくみ・かたちにする」を「観察、分析、価値提案、設計、実装、評価」というデザインプロセスの中で実践します。

学部概要

国際総合科学部のカリキュラムについて

変化が激しく、予測が困難な時代においては、社会の課題に柔軟に対応し、科学的に分析し、解決策を探究する能力が求められます。山口大学国際総合科学部では、文系と理系の様々な分野に関する基礎的な知識を持ち、複数の言語の運用能力を含む高いコミュニケーション能力と課題解決能力を有し、多様な分野や背景を持つ人たちのアイデアや意見、考えを調整し、一つにまとめ上げ、新しい価値を創造できる人材を養成します。



本学部のカリキュラムでは、4年次に行うプロジェクト型課題解決研究（PBL）を軸に課題解決系科目のほか、各専門科目をより緊密に結び付け、PBLを効果的に進める体系に編成しています。2年次後期からの1年間をグローバルイヤーと位置づけ、主に留学を通じて多様なグローバル人材として社会の課題を探究する能力を養います。学際的教育が重視され、文理一体で課題に取り組むことが求められる中、文理の枠を超えた人材の育成を強化します。データサイエンスを中心として科学的に分析する能力を養い、プロジェクト等で実践する経験を蓄積します。

教育課程は2年次後期から3年次前期の1年間のグローバルイヤーをはさんで、大きく前半と後半に二分されます。前半には主として基盤科目を、後半には展開科目、キャリアデザイン科目を配置します。また、4年間を通じてコミュニケーション科目、創造支援科目、課題解決科目を配置します。

基盤科目は、科学技術、思想・文化、政治・経済の各領域に関する基本的知識、科学技術リテラシー、デザイン思考を修得することを目的として設定された科目群で

す。具体的には、科学技術史、デザイン概論、知的財産入門、文化人類学概論などの科目が用意されています。入学直後の授業では、アカデミック・スキル科目、スタートアップ科目において、学修の基礎となるスキル（統計学入門、社会調査法など）、基本的な学び方を修得し、新入生が支障なく学生生活に入れるように配慮します。

展開科目は、基盤科目で培った科学技術及び文化・社会に関する知識・理解を深めるとともに、学生の志向性に応じて能力を発展させることを目的として設定された科目群です。具体的には、科学技術論演習、文化社会論演習、サービスデザイン、著作権法などの科目が選択科目として用意されています。





コミュニケーション科目は、単に語学力に留まらず、多文化理解能力、自己省察能力、共働力を涵養し、他者の意向を押し量り、また同時に、自らの考えや疑問を分かりやすく正確に他者に伝える能力を修得することを目的として設定された科目群です。具体的には、コミュニケーション学科目（コミュニケーション概論など）、英語科目（Elementary English Speaking など）、複言語科目（中国語、韓国語など）が用意されています。コミュニケーションツールとしての英語は、レベルごとのクラス分けによって自身の能力に見合った授業が受講でき、かつ4技能（話す、聴く、読む、書く）すべてを修得することを重視します。また、英語以外の外国語も卒業要件に含めることができます。

創造支援科目は、課題解決のために必要なスキルをそれぞれのレベルに応じて修得することを目的として設定された科目群です。具体的にはワークショップデザイン、コンピュータグラフィックスなどの科目があります。また、キャリアデザイン科目は、実社会における様々な問題について考察するとともに、そこで活躍するための基礎的な力を高めることで、実践的な課題解決能力を涵養することを目的として設定された科目群です。



課題解決科目は、実践を通じ高度な課題解決能力を修得するとともに、実践的に活躍することができる能力を涵養することを目的として設定された科目群です。基礎的な能力の修得から最終的には実社会での課題解決の実践までを段階的に行う仕組みになっています。グローバルイヤーにおいて自ら研究課題を発見し、探求するために、その前後の期間に研究手法の指導を行います。4年次に行なわれるプロジェクト型課題解決研究では、1年間を通じて実社会での課題解決を実践するため、企業等のパートナーとともに指導を行います。

以上のように国際総合科学部で学ぶことで、実社会で活躍できる力が身につき、鍛えられるものといえます。本学部とともに育み、明るく豊かな未来を作っていきます。

カリキュラム体系図



基盤科目: 大学生として必要な基礎的なスキルと各分野の基本的な知識の修得

- | | | |
|---|-----------------------|----------------------------|
| 1 | スタートアップ科目: 必修4単位 | 国際総合科学概論、STEAM/SDGs総論など |
| 2 | アカデミックスキル科目: 必修20単位 | ロジカル & クリティカルシンキング、ICT演習など |
| 3 | 科学技術リテラシー科目: 必修10単位 | 科学技術史、物質・エネルギー・環境など |
| 4 | デザインリテラシー科目: 必修/選択4単位 | デザイン概論、デザイン演習 |
| 5 | 知的財産リテラシー科目: 必修2単位 | 知的財産科目 |
| 6 | 文化社会リテラシー科目: 必修10単位 | 経済学概論、言語学概論など |

展開科目: 各分野のより専門的、応用的な知識・理解・能力の修得

- | | | |
|----|-----------------------|---|
| 7 | 科学技術論科目: 展開科目全体で8単位以上 | 科学技術論演習Ⅰ～Ⅳ |
| 8 | デザイン論科目: 展開科目全体で8単位以上 | メディアデザイン、インクルーシブデザイン、ビジュアルコミュニケーションデザイン |
| 9 | 知的財産科目: 展開科目全体で8単位以上 | 知的財産科目 |
| 10 | 文化社会論科目: 展開科目全体で8単位以上 | 文化社会論演習Ⅰ～Ⅳ |

- | | | |
|----|-----------------------------|--|
| 11 | コミュニケーション科目:
必修/選択12単位以上 | ・コミュニケーション学科目(必修・選択)
・英語科目(選択必修)
・複言語科目(必修・選択) |
|----|-----------------------------|--|

- | | | |
|----|---------------|---------------------------|
| 12 | 創造支援科目:
選択 | ・表現・造形・ものづくり・ICT・グラフィックなど |
|----|---------------|---------------------------|

- | | | |
|----|-------------------|---|
| 13 | 課題解決科目:
必修13単位 | ・山口と世界
・グローバルイヤー準備・まとめ
・プロジェクト型課題解決入門・研究・特論 |
|----|-------------------|---|

※必修: 3単位

・キャリア・デザイン入門
・実践キャリア・デザイン

※これらの科目に加えて、
キャリアデザインに関する科目も開講しています。



交換留学とグローバル教育について

今、グローバル教育は、必ずしも留学すればそれでいいという時代ではなくなっています。むしろ、世界に存在する多様な価値をいかに理解し、すり合わせる能力を身につけるかということこそが問われているのです。単に留学するだけのグローバルから、多様な価値観をすり合わせる能力を身につける「ニューグローバル」への転換。それこそが新しい時代のニーズだといっているでしょう。

そこで本学部でも、2年生後期から3年生前期の1年間を「グローバルイヤー」として位置づけ、課題解決のためのグローバルな視点（以下、「グローバル思考」）を身

につけるための期間として設定することにしました。この期間は、1年間の交換留学への参加を原則にしつつも、短期の留学、インターンシップ、オンライン留学などへの参加、グローバル思考醸成に重きを置いた授業の履修といった様々な形態を組み合わせながら、グローバル思考を身につけるための学びを各自で設計していけるように指導しています。

具体的に大学が提供する交換留学プログラムとしては、世界各国の様々な国・地域にある海外の協定大学での1年間の長期留学を基本としつつ、半年単位での留学も選べるようにしています。したがって、別の国に半年ずつ留学することも不可能ではありません。また、オンライン留学を選択したり、それと渡航留学を組み合わせることもできます。

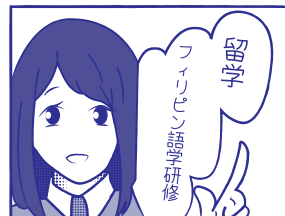
なお、世界のどの国・地域の大学を選んでも、英語で授業を受けることができます。場所によっては、英語以外のその国の言語を習得することもできます。

そして、グローバルイヤー以外の期間でも本学部は様々な授業等を通じて学生のグローバル視野を広げようとしています。仮に留学しなくてもグローバル思考が身につく多角的なグローバル教育プログラムを用意することで、パンデミックをはじめます

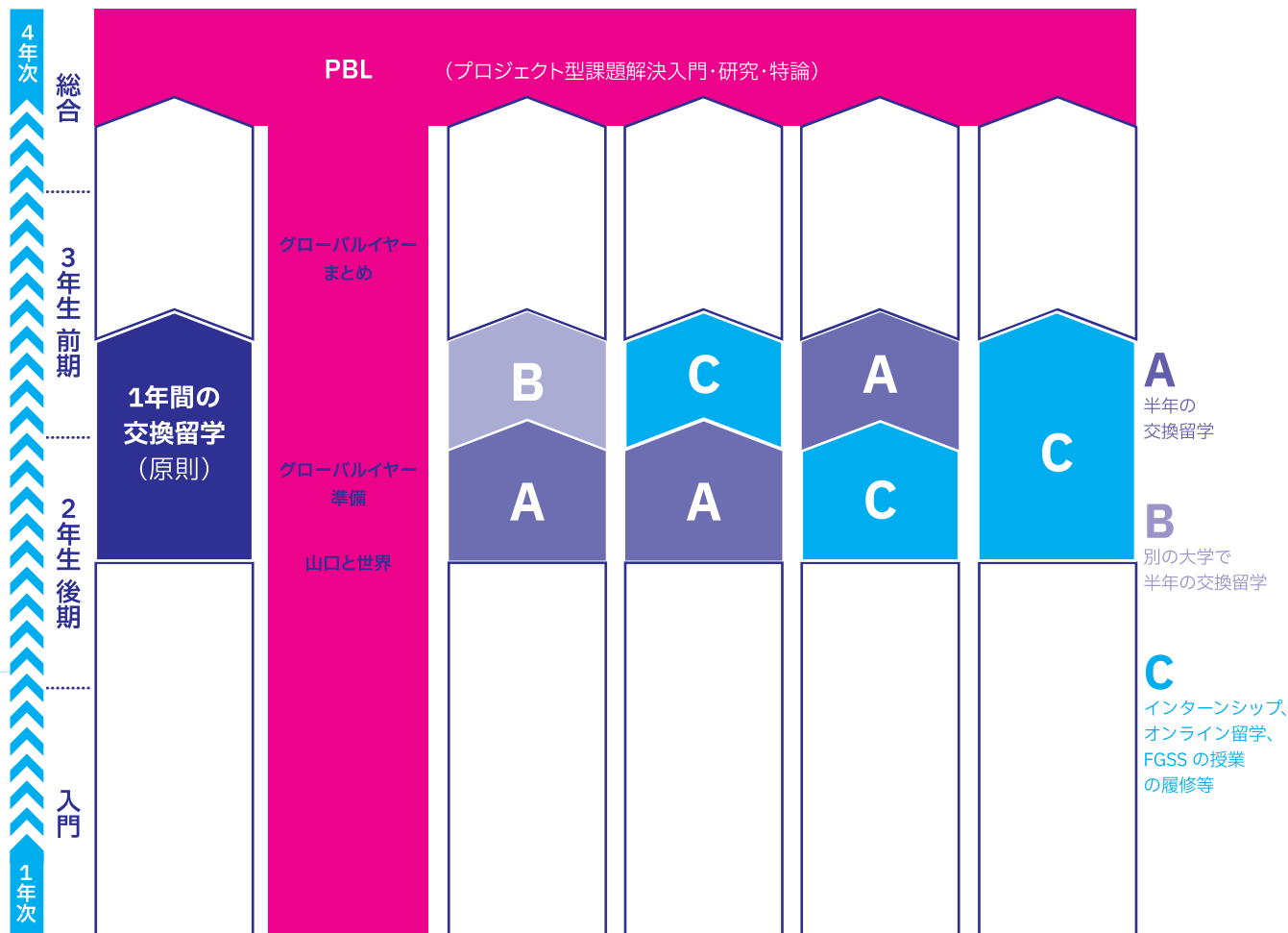
ます不確実化する国際社会にあっても、本学では安心して勉学に勤しんでもらえるよう工夫しています。



国際総合科学部での日々



交換留学とグローバルイヤー



短期語学研修

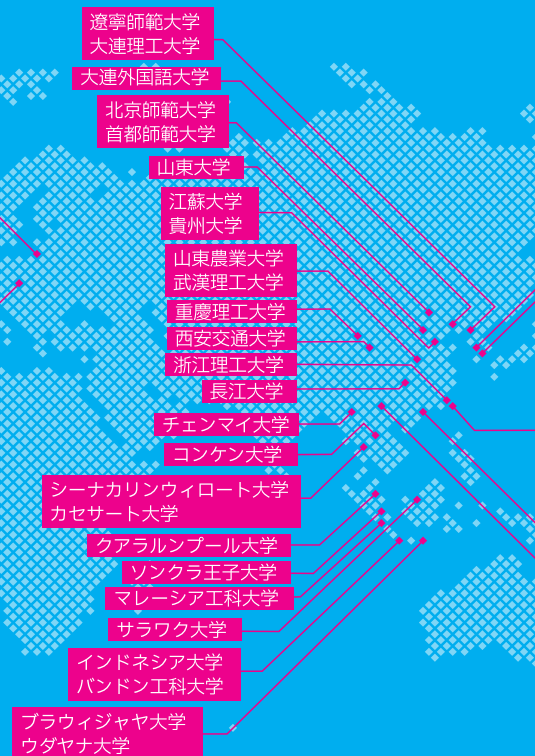
1年生の夏に1ヶ月間、アジアの英語教育の中心となったフィリピン島に語学研修に行きます。TOEIC(L&R)600点相当以上を目指し、徹底的に英語力を高めます。

ディズニー 国際カレッジプログラム

1年間の留学には、アメリカのウォルト・ディズニー社が行うディズニー国際カレッジ・プログラムに参加できるコースもあります(成績・面接による審査があります)。半年間、インターンシップを行い、その後は、近隣の協定校であるヴァレンシア大学で学びます。

海外留学

2年生の秋から3年生の夏までの1年間、海外留学に行きます。国際社会で活躍するための幅広い知識と視野、高いコミュニケーションスキルを身につけます。
(留学には、TOEIC (L&R) 600 点または





グローバルに 活躍するために

“日本を知り、世界を知る”



海外インターンシップ プログラム

海外留学後は、英語で行われる専門科目の講義を受講することで、更なる英語力の向上を図りますが、語学力やコミュニケーション能力を生かして台湾・韓国の企業で短期インターンシップ・プログラムにも参加できます。施設見学や業務の一部を担う就業体験によって、日本とは異なる企業文化に触れることができます。

グローバルに活躍するために、必要となる能力。それは、語学に留まらないコミュニケーション能力及び海外の国々と日本に関する知識です。海外留学を通して留学先の歴史等に触れながら、国際社会で活躍するための幅広い知識と視野、高いコミュニケーション能力を磨きます。また、海外においてしっかり日本を発信できるよう、日本社会及び文化についても学びます。

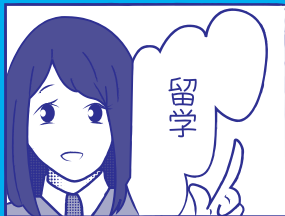
2021年入学

増田悠希



私の留学での最大の成長は、「興味が無くても一度挑戦してみる」のマインドが身についたことです。留学中は、一生に一度しか無い機会に沢山のことに挑戦する、を常に心がけていました。その中で、今は興味がなくなるとも一度挑戦することでその面白さに気付いたり、逆に自分には合わないことを再確認したりと、自分の関心の裾野を広げることができました。大学4年間はあっという間です。思い切って飛び込むことでしか気付けないこともあるので、留学含めぜひ色々な事に挑戦してみてください！

国際総合科学部での日々



2021年入学

アフザール
ミナヘル



私はデンマークに留学しました。留学条件は突破できたものの、留学先の勉強は想定以上にレベルが高く、日々授業の予習や課題、他の留学生との学力の差に悩まされていました。しかし、一年間の留学を通して自分の学力は大変伸びましたし、様々な国に旅行したり、何よりたくさんの留学生と交友関係を築いたり、留学を通してしかできない体験をすることができました。留学後でもその友人とお互いの国で会ったり、留学生として来日してくれる友人がいたりなど、一年間だけでない一生ものの友達に出会えたことが、私にとって留学の一番の思い出です。

2021年入学

五三三 絢加



留学を通して、慣れない環境でも行動を起こし続けることの大切さを学びました。留学中は新たな情報に溢れているので、受動的でも日々刺激を受けることができます。しかし新たな機会に自分から飛び込んでみることで、かけがえのない出会いや経験をより重ねることができます。また言語学校では、様々な国籍や年齢の人たちとの出会いがありました。皆様々な境遇で様々なことに打ち込んでいて、自分がいかに狭い価値観の中で暮らしていたか気付かされました。留学は一年間の経験ですが、一生自分を奮い立たせる経験になると思います。

2021年入学

姫野友希



私はマレーシアの首都クアラルンプールに1年間留学をしていました。マレーシアは多民族国家で、マレー系、中華系、インド系の人々が一緒に暮らしています。さらに、欧米圏も含め世界各国からの移住者がいるので、食べ物も文化も宗教も、全てがミックスされたとてもユニークな国です。そんな独特で陽気な国マレーシアで私は沢山のひとと出逢いました。皆が自分自身に誇りを持ち、かつ自らを輝かせながら毎日を生きており、そんな彼らと出逢えたことは私の一生の宝物です。留学中、私は語学や宗教、多民族国家での民族の共存の仕方、未知の世界に放り出された際に自分が感じる事など本当に様々な事を学びましたが、一番の学びとなったことは人生において自分が大切にしたい価値観を発見出来たことです。ぜひ皆さんも大学では思いっきり好きな事に没頭し、自分自身を磨けるような素敵な生活を送ってください。応援しています！

学部公認サークルについて

学部公認のサークルとして、FGSSER（ふぐさー）、デザインサークル SIGNAL（シグナル）、エンタメサークル姫山の3団体があります。

FGSSER は、学部生と留学生間の交流の場を設け、お互いに充実した大学生活を実現するために活動しているサークルです。学部主催の国際交流イベント支援のほか、学生独自のイベントも企画・運営しており、学年や国籍といった垣根を超えて、グローバルかつアットホームな雰囲気です。異文化交流を促進しています。



SIGNAL は、公開イベントのポスターや山口大学が策定した「明日の山口大学ビジョン 2030」のイラスト制作に加わるなど、学部を越えて大学全体や学外にも活動を広げています。

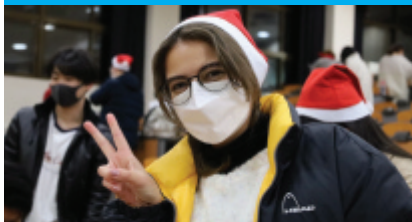
姫山は、留学生の書道体験活動や、学部行事に使用する掲示物の揮毫を行うほか、学生同士のスポーツ交流イベントなども積極的に企画・運営しています。

Yena（イェナ） 韓国出身



山口大学での留学は最高の経験でした。1年の間、多くの日本人の友達に会えて、彼らを通じて私はさらに成長することができました。山口大学の友達はもちろん、私のBuddyと指導教授、国際総合科学部の職員

Ursula（ウルスラ）ドイツ出身



山口大学への留学はすばらしく楽しい経験でした。留学中に日本の文化や日本語について教科書だけでは分からない多様なことを学び、たくさんの友達をつくることもできました。

の方々まで私が日本生活に適応していく過程で積極的に助けてもらいました。

それだけでなく山口大学には留学生のための多様なイベントがあって新しい友達との出会いが可能で、日本の多様な風習、名節、文化などを学ぶことができました。授業でも今まで考えたことのない国間の文化の違いについても話ができ良かったです。国際総合科学部の皆さんが丁寧に気遣ってくださったおかげで、山口での良い1年の思い出を作ることができました。母国に帰ってもまた山口に來たいです。

最初は、慣れない生活での様々な障害や友達ができないなどの不安がたくさんありましたが、山口大学がいろいろ助けてくれました。また、留学生と日本人学生の交流イベントがたくさんあって、楽しい時間が過ごせました。

外国に留学したことで、自分の視野が広がり、よりよい人間になれたと思います。また、将来についても、自国だけでなく海外で仕事をするなどいろいろ考えることができました。

もうすぐ留学期間の10か月が終わってしまふことが信じられません。山口大学で良い経験ができたことをうれしく思います。

Studying abroad at Yamaguchi University was the best experience. During the year, I met many Japanese friends, and through them I was able to grow even further. Not only my friends at Yamaguchi University, but also my Buddy, instructor, and the staff of FGSS were actively helped in the process of adapting to my life in Japan.

In addition, Yamaguchi University has various events for foreign students, and I was able to meet new friends, and learn about various customs, holidays, and so on. It was good to be able to talk about cultural differences between countries that I had never thought about before. Thanks to the careful consideration of the International Science Department, I was able to make good memories of the year in Yamaguchi. I want to come to Yamaguchi again even if I go back to my home country.

My exchange year in Japan has been a wonderful and enriching experience. During the two semesters I was able to make many great friends and learned things about Japan and its language that I would not be able to learn through text books.

In the beginning I was afraid that I would have problems in the daily life and with finding friends, but the university provides help if needed and a lot of opportunities to meet other exchange students as well as Japanese students. Being able to experience life in another country was a great opportunity to expand my horizons and grow as a person. It also helped me with thinking about future plans, such as for example whether wanting to work abroad or in my home country.

I cannot believe that these 10 months are already almost over! I am glad that I was able to spend such a long time here.

PBL (Project based learning)

概要

国際総合科学部では、3 年次の後半から 4 年次にかけて、従来の「卒業研究」に代えて、「プロジェクト型課題解決研究」(Project Based Learning: PBL)を実施しています。これは実社会で多様な主体と連携しつつ課題解決できる人材を育成することを目的として、社会が抱える諸課題を解決するためのプロジェクトを学生が企業、地方自治体、NPO 法人等と協力して行おうとするものです。

コース

実施するプロジェクトは、プログラム・コースとオリジナル・コースからなります。プログラム・コースは、あらかじめ協力を依頼する企業や地方自治体、NPO など(パートナー)が決まっており、オリジナル・コースは学生自らが地域でパートナーを探します。いずれのコースも、学生とパートナーが協議のうえ、プロジェクトを企画・実践し、課題の解決を目指します。

活動

プロジェクトの活動は、学生がこれまでに学んだデザイン思考に基づいて、学生自身が主体的に行います。担当教員の役割は、週に 1 回、現在の活動状況や今後の活動方針の確認を行い、課題解決のために必要な情報の収集方法(文献や資料の探し方、専門的な知識・ノウハウを持っている人を紹介する等)や問題を抱えているようであれば適宜アドバイスをします。

学生自らが複数の専門分野にわたる知識や情報を習得・融合・活用する事を促し、これからの時代に必要とされる課題解決能力や新たな価値創造を行う能力の涵養を図ります。

国際総合科学部での日々



2024 年度 PBL 協力自治体・企業等

企業との連携 (14 組)

- ・株式会社 JTB 山口支店
- ・NTT 西日本山口支店
- ・株式会社 QQ English
- ・株式会社イミカ
- ・株式会社カワト T.P.C.
- ・株式会社サーティファイ
- ・株式会社三和
- ・トヨタカローラ山口株式会社
- ・トヨタレンタリース山口
- ・プロジェクトデザイナー rinne
- ・山口放送株式会社
- ・山口マツダ
- ・大和春信松緑窯
- ・株式会社レノファ山口

地方自治体等との連携 (3 組)

- ・宇部市
- ・周防大島町
- ・美祢市

NPO・団体等との連携 (7 組)

- ・協同組合維新
- ・一般財団法人たんぼぼの家
- ・富海地域活性化協議会
- ・NPO 法人皆繋
- ・Mine 秋吉台ジオパークウルトラマラソン実行委員会
- ・山口県立総合医療センターへき地医療支援センター
- ・山口大学生生活協同組合



私たちは山口マツダをPBLの連携先とし、自動車整備士不足の社会問題に対して、サービスデザインとシステム思考の考え方を組み合わせて課題解決策の提案と実装を行いました。サービスデザインは利用者の視点で仕組みを考えるデザイン方法で、調査、アイデア創出、プロトタイプ作成、実装という流れでデザインを行います。まず、調査として整備士やお客様を対象とした現場観察やインタビューを行いました。問題の全体像を考えるシステム思考の分析手法を用いて、調査結果から整備士不足の潜在的な原因を分析しました。分析結果から導いた仮説は、「整備士がお客様との接点を増やすことで、世間が整備士への興味関心を持ち、社会的重要性が認知されることで感謝の気持ちが醸成する」です。仮説が正しいことを確かめるために、私たちはお客様に整備士との接点を持たせるためのアイデアを考えました。その中で実現したものが自己紹介カードです。カー

ドはお客様が整備士に興味関心を持ってもらうための「キャッチコピー」や「整備士の自己紹介」を掲載し、お客様が情報に対してリアクションできる仕掛けを用意しました。実際に店内にカードを設置した結果、お客様は整備士に興味を持ち、整備士の役割を認知することが明らかとなりました。このような取り組みは複雑な社会問題の一部に過ぎませんが、私たちの活動を通じて、自動車整備士不足が解決する一助になることを願っています。

(株)サーティファイ		
特許権	商標権	著作権
意匠権		意匠権
著作権	商標権	特許権

本プロジェクトのパートナーは、ビジネス著作権検定をはじめとする多くの検定試験を主催する株式会社サーティファイです。パートナー企業から与えられた課題は、検定試験

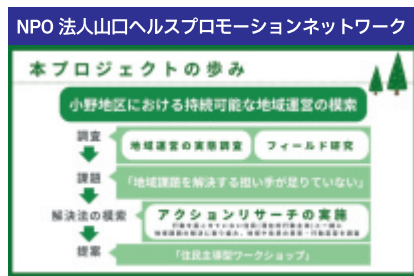
受験者を増やすことなく、知的財産に興味関心を持つ人たちのすそ野を広げてほしいといったことです。

2022年度学生は、「知財を学ぶ側と知財を教える側の両方の立場を理解する」とい

ったアプローチをとりました。加えて、金城学院大学の学生とともに、判例研究会を行い、年末には、知財判例セミナーとして、判例発表を行いました。

2023年度学生は、「初学者の著作権に関する知識の向上」を目標として活動を行いました。自分たちも初学者であるといった観点から、まずは勉強を始め、ビジネス著作権検定初級には7月の時点で5名全員が合格しました。その後、初級相当の問題を作ってみるといった課題を与えられ、一人30問を目標に作問しました。秋口からは、昨年の金城学院大学に加えて、追手門学院大学も加わり3校混合チームで判例発表に臨みました。

11月以降は、山口大学を訪問する中高生を中心に、知財センター制作の「知財かるた」を使って知財の基礎を理解してもらう活動をしてきました。その過程で「知財かるたピンゴ」が生まれました。かるたに慣れたら、取った札を権利毎に分けてピンゴを作るというものです。知財の諸権利については、3分で分かるビデオもつくりました。



私たちは、NPO 法人山口ヘルスプロモーションネットワークとの連携のもと、持続可能な地域運営の模索をテーマに宇部市小野地区で活動しました。活動前半は、同地区全自治会長・宇部市役所・同地区有志組織に対する調査や、地域活動への参加を通して、地域運営の実態把握に努めました。そこで注目したのは、(1) 自治会や行政では十分に対処できない地域課題に取り組むアクターとして有志組織は重要な役割を担っているが、担い手不足の問題があること、(2) 具体的に行動を起こしているわけではないが、地域問題に対して関心・アイディアを持つ住民がいることでした。このような住民を私たちは潜在的行動主体と名付けました。潜在的行動主体が地域活動に参加するようになれば、担い手不足の問題もある程度解消されるはずで、そこで活動後半は、潜在的行動主体のエンパワメントに指向したアクションリサーチを展開しました。具体的には、同地区における空

き家問題を事例に、すでに活動していた組織や個人の協働体制構築に向けたワークショップの開催や、空き家問題啓発パンフレットの作成などを行いました。こうした活動に潜在的行動主体を巻き込んでいく過程で当人の意識は変容し、地域活動に継続的・積極的にかかわる主体となりました。また、最終的に同地区における統合的な空き家対策組織が創設される運びとなり、同地区の空き家問題に対処する地域組織の強化にも寄与しました。

山口市スマートシティ推進室



充実した大学生活を送りたい。このテーマは、そんな思いを持った学生達が、自分でパートナーを探し出し、活動費を獲得し、スタートさせたオリジナルコース PBL です。

大学生活を充実させるためには、何が必要なのか。学部で学んだデザイン思考の手法を元に、山大学生は日頃何を考え、どう行

動し、どんな時に充実感を感じているのか等々、様々な調査を行いました。その結果、充実には「友人」や「飲食」、「お徳感」といった要素が大きく関わってくる事が浮かび上がってきました。

それならば、大学の近くの湯田温泉はまさに、充実に必要な要素を備えた場所。後は行動あるのみ。湯田温泉の振興を進める山口市と湯田温泉料飲社交組合に自分たちの思いを伝え、幸運にもご支援を頂ける事となりました。

飲食店 20 店舗の方々と一緒に、大学生が楽しめ、ちょっとお得を感じられるユニークなサービスを考案し、インスタグラムで発信しました。例えば、お会計の時に店員さんとじゃんけんして、引き分けなら 500 円引きとか。これはじゃんけんに勝っても負けても、その場で皆が一喜一憂するという楽しさを提供するものです。

その結果、山大学生の約 4 割がこのサービスを利用し、その 96 % が充実した時間を過ごす事ができたとアンケートに回答してくれました。これは、湯田温泉が大学生の充実に大きく貢献できるという結果であり、私達は、湯田温泉に、従来の価値に加えてキャンパスとしての新しい価値を提案できたと考えています。

以下の要件すべてを満たすこと。

- I. 規定に基づいた単位（124 単位）を修得すること
- II. 外国語の試験において以下のいずれかを満たすこと

1. 英語で **CEFR**※の **B2** レベル（英検準 1 級レベル）に準拠した成績を修めること
2. 英語で **CEFR** の **B1** レベルに準拠した成績を修め、かつ、英語以外の外国語で所定の成績を修めること

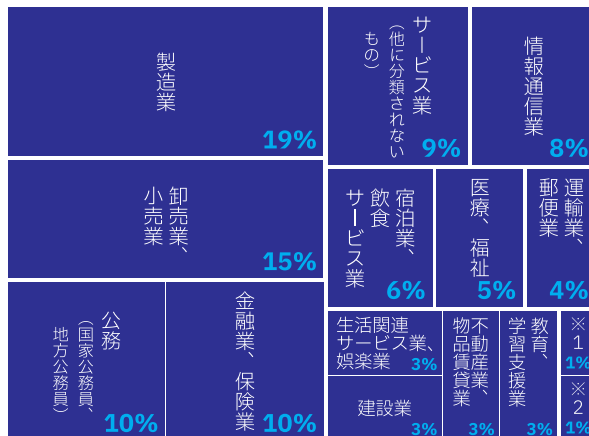
- III. 授業の成績から算出される個人スコアが学部の定める要件スコアを満たすこと

※CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）…外国語学習者の言語能力を評価する国際指標。

※各試験、検定レベルの成績と CEFR のレベル対象関係については、別に定める。

2022 年度卒業生 就職状況

国際総合科学部では、プロジェクト型課題解決研究、グローバル・インターンシップ演習など、課題解決能力を修得する科目を通じて企業との関わりを深めています。就職活動が本格化する前に企業の考え方を学ぶことができるため、就職先の決定に大変役立ちます。また、本学部では就職支援部会を組織し、個別面談対応など、きめ細やかなサポート体制で学生の就職活動を支援しています。



就職先一覧

ANA 福岡空港、JTB、OKAMURA、plan do see、SunAsterisk、麻生、あさひ製菓、アマゾン・ジャパン合同会社、イーオン、カイトックホールディングス、クイック、クボタ、ケン・コーポレーション、こうぞう、ザ・リッツ・カールトン日光、ザイオン、新日本造機株式会社、社会福祉法人わたぼうしの会、ジャパンエアマット、ジョーシス、進研アド、住友重機械工業、セコム、セントラルソフト、ソフトウェア・

サイエンス、大創、タハラ、タマホーム、田村ビルズ、中特ホールディングス、テックウインド、テルモ山口、東京貿易マテリアル、トッパンフォトマスク、西日本シティ銀行、西日本鉄道、日本食研ホールディングス、日本生命保険相互会社、ネッツトヨタ北九州、ヒルトン・ホテル&リゾート、日立製作所、広島銀行、フジパングループ本社、不二貿易、星野リゾート、街角企画、丸三証券、ミネペアミツミ、眼鏡市場、山口日産、山口フィナンシャルグループ、ヤマハ発動機、郵船ロジスティクス、ユニクロ、琉球銀行、緑翠園、レニアス、レッドホースコーポレーション、レバレジーズ、ロート製薬、大分県庁、唐津市社会福祉協議会、北九州市、熊本県庁、呉市役所、龍郷町役場、福岡出入国在留管理局、山口県信用農業協同組合連合会、山口県庁、山口大学

ヤマハ発動機 マリン事業部 商品企画グループ

2022 年度卒業 久田陽希

ヤマハ発動機では、バイクや電動自転車、産業用ロボット、船のエンジンなど多岐にわたる製品を全世界に向けて製造・販売しています。その中でもマリン事業部では、船や船のエンジン、水上バイクなど多くのマリン製品を製造しています。海を楽しむため、また海を生活の基盤とするお客様に感動を与えるための製品づくりをしています。

私の所属する商品企画グループでは、世界各地域の営業拠点からの市場要望をもとに、社内の各部門と会話をを行い、1つの商品にするための企画立案をする業務を担当しています。

拠点の市場要望だけでは情報が不十分な場合は、出張で現地に出向き調査をすることもあります。また、拠点の従業員の方と情報共有を行うため、英語での会議やメールも頻繁にあります。

モノづくりの上流の仕事として、社内の各部門や拠点と連絡を取り、多様で複雑な情報をまとめ、重要な判断をすることが多いですが、その分やりがいも大きい仕事です。

この仕事では、専門以外での幅広い知識、国内外問わず多様な人々に関わるため

のコミュニケーション能力を必要とします。国際総合科学部では、文理にとらわれない幅広い知識、PBLなどのグループワークや生徒間の繋がり、留学先での異文化コミュニケーションなど、現在の仕事に活かしている点が多くあったと実感しています。

国際総合科学部で学んだ事は、私の考えをより柔軟にし、業務を進めるうえで大きな助けになると確信しております。私は、大学受験で国際総合科学部を選んだことを誇りに思っています。



株式会社 OKAMURA

2022 年度卒業 瀬尾文乃

私が入社した株式会社 OKAMURA は電力インフラを中心に事業を行っている会社です。私は調達グループに所属し、依頼された製品の購買や出荷の管理といった業務を担当しています。

調達グループでは、その業務プロセスの中で社内の様々な部署と協働し、国内外のサプライヤーと綿密にやり取りする必要があります。これはチームで協力し、特性の異なる複数の組織と連携した PBL の経験と共通しており、PBL の活動が現在の職場で活かしていると実感しています。

また、海外出身の先輩や国外のサプライヤーとのコミュニケーションは英語で行います。国際総合科学部では留学や普段の生活を通じて海外出身の学生や先生方と日常的に交流する機会を持てます。このお陰で気負わずに、文化や価値観の違いに驚きながらもコミュニケーションを楽しむことができています。

在学中の4年間はすぐに過ぎてしまいましたが、国際総合科学部で多くの得難い経験をし、今も連絡を取り合う大切な友人ができました。今後はこの経験を糧にこの会社で成長し続け、世界中のインフラを支えることで社会に貢献したいと考えています。

西日本鉄道 国際物流事業本部

2022 年度卒業 和田 啓佑

西日本鉄道は”にしてつ”として九州地方でのバスや鉄道のイメージが浸透していますが、貨物に関する広範なサービスを世界各地に提供する国際物流事業も行っており、ヒトだけではなくモノへのサービスも展開するいわば貨物の旅行代理店としての役割も担っています。

私は現在、日々世界各地に対して、荷主企業の貨物の特徴や要望から最適な航空会社やフライト日程、自社にとっても最大限利益を創出できる最適な輸出形態を生み出す為の航空輸出入業務に従事しています。

本学部ではグループワークを始め、その集大成としてのPBLのように人と対話を重ね、自身の考えを発言する機会が多くあります。仕事上では英語に毎日触れる事は勿論ですが、貨物を無事に離発着させるために関係部署と綿密なコミュニケーションを常に取りっています。最近では業務で得た知識から少しずつ選択肢を持った提案をする事が出来、非常にやりがいを感じており、学部で培った力がまさに発揮出来ていると実感します。

本学部は文理融合型で広範な学問に触れる機会が多く有ります。選択肢が多く自由度が高い為、いかにどこに専門性を当てるのか主体的に学ぶ姿勢を見せる場面を見つけるかが大事になります。とことん興味を持った学びたい何かを極めてください。

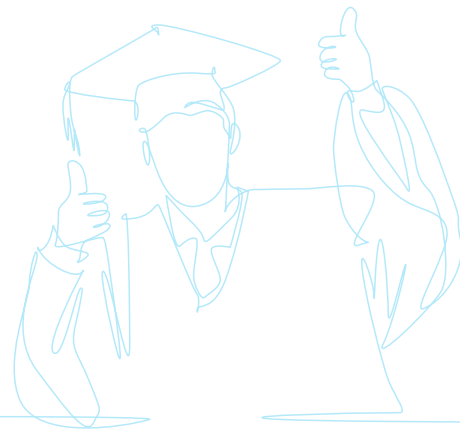
熊本県庁

2022 年度卒業 鶴田 侑大

私は熊本県庁職員として、生活保護業務に携わっています。所謂、ケースワーカーと呼ばれる仕事です。生活保護受給世帯への訪問調査、保護費の調整などを行っています。この仕事は、基本的に人と関わる仕事なので、上司や先輩と協議しながら迅速に対応しなければならない場面が多くあります。更に、役場や関係機関との話し合いの場も度々あり、勉強すべきことは多々ありますが、「生活保護受給者の自立のため」という目的のために日々の業務に邁進しているところです。

国際総合科学部で学ぶものは多々ありますが、卒業して最も役に立っていると感じるのは、なんと言ってもグループワーク演習です。他人の意見を噛み砕きながら自分の意見を述べる。これは、職種関係なく社会人として必要なスキルであり、私の現在の業務においても、随所で役に立っています。

当学部は、国際学部ということもあり、比較的積極性のある学生ばかりです。4年生にもなれば、話し合いの際もそれぞれが自分の意見を持ち議論を交わしています。その様な環境の中で演習を繰り返すことができたのは、私にとって大変有意義な時間であり、財産であったと言えます。





ウェブサイト

<https://gss.yamaguchi-u.ac.jp>

代表電話

083-933-5213

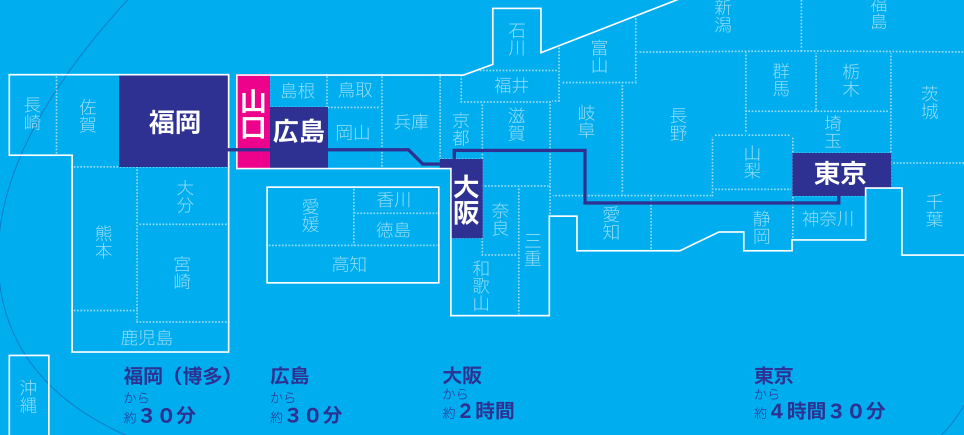
メール

gl004 @ yamaguchi-u.ac.jp



入試に関する情報

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>



東京（羽田）

から

約1時間30分

山口宇部空港

宇部市営バス

37分

特急

JR新山口駅

JR山口線

20分

JR湯田温泉駅

20分

防長バス

30分

平川経由※

山口大学前

3分

吉田キャンパス

10分

タクシー

※他のルートもありますが、乗り換えが必要です

山口大学
吉田キャンパス

〒753-8541
山口県山口市
吉田 1677-1

アクセス・交通案内・お問い合わせ



<http://gss.yamaguchi-u.ac.jp>